



ふじみだい



心と心をつなぐこと

校長 山本 加奈代

北門のすぐそばに咲いているツツジの花が満開です。木々が若葉となり、やわらかい青々とした葉が春の日差しを浴びてきらきらと輝いています。過ごしやすい季節となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて臨時休業が続いていますが、子どもたちも保護者の皆様も、学習の習得、健康の維持、そして、何より今後の生活の見通しがつかない状況に不安やストレスを抱えたまま過ごしている方も多いと思われます。学校でも、子どもの学習をどのように保障し、進めていくのかを喫緊の課題と捉え、検討を続けています。子どもたちの学び方も今後変化してくると思われます。文部科学省のGIGAスクール構想では、2023年までに小・中学生が一人1台パソコンやタブレットを使えるようにする計画を立てています。実現するにはさまざまなハードルを超えなければなりません。パソコンやタブレットもノートや教科書のように思考ツールとなってきます。先日ご協力いただいた「インターネット環境に関する調査」結果も参考に、今、学校でできることは何かを考えて発信していきたいと考えています。

これまで学校では、進んであいさつを交わし、友達と共に学び合う学習を進めてきました。分からないときには教え合ったり、支え合ったりする場面もたくさんありました。いざ学校が再開したときに、どんな状況になるのかと考えてみました。これまで進んで行ってきたことが、「これは3密にならないか」と立ち止まってみる必要があります。しっかりこないこともあります。それでも、子どもたちが富士見台小学校に戻ってきて、担任と一緒に安心して学校生活を送れるようになってほしいと強く願っています。今後については、横浜市教育委員会と連携し、決まりましたらメール、ホームページ等でお知らせいたします。

日本中で、世界中で誰もが見えないウイルスに対して、立ち向かっている毎日です。感染リスクを抱えながらも、最前線で仕事をされている方々に敬意を表します。臨時休業が続く、家庭で過ごすことが多い子どもたちの様子も心配です。まだ経験が少ない子どもたちですので、表面には出なくても大人以上に不安になるものです。上手く気持ちをコントロールできないこともあるでしょう。気になることがありましたら、遠慮なさらず学校に相談してください。

「ピンチはチャンス！」この時期は人と人が接することは極力禁じられていますが、心と心をつなげることは工夫次第でできることです。困ったことがあれば声に出し、みんなで見守りを出し合って解決していきたいと考えています。